

2012年12月

## 韓国におけるリチウムイオン二次電池材料用 高純度アルミナの製造設備の新設について

住友化学は、リチウムイオン二次電池の正極や負極、セパレータのコーティングに適した高純度アルミナの製造設備を、韓国・益山（イクサン）市に新設いたします。生産能力は1,600トン／年で、2013年4月から稼動を開始させる予定です。

住友化学の高純度アルミナは、純度が99.99%以上で、耐熱性、絶縁性、難燃性に優れています。ハイブリッド車や電気自動車などに搭載する高容量のリチウムイオン二次電池の正極や負極、セパレータにコーティング材として使用することで、安全性の向上につながることから、近年、採用が増加しております。今後、リチウムイオン二次電池の市場拡大とともに需要の増加が見込まれるため、韓国で新たに設備を建設することにしました。

住友化学は、生産体制の強化とともに、リチウムイオン二次電池に適したグレード開発やさらなる品質向上のための研究開発も推進し、多様化する顧客の要望に迅速に対応することで、高純度アルミナ事業を一層強化してまいります。

なお、LED用サファイア基板用途の高純度アルミナについては、需要の増加に対応するため、愛媛工場（愛媛県新居浜市）における生産能力を1,600トン／年から3,200トン／年に倍増させ、11月から稼動を開始し、主に国内に供給しております。今後も、安定供給の継続を通じて、国内の顧客との関係を一段と強化していく考えです。

以上